



静大・猪川教授に 高柳賞の記念賞 光の検出器研究



賞状を受け取る猪川洋
教授＝浜松市中区で

電子科学分野で顕著な業績を上げた研究者をたたえる「第三十三回高柳賞」の贈呈式が二十一日、浜松市中区のホテルクラウンパレス浜松であり、静岡大電子工学研究所教授の猪川洋さん(六二)＝浜松市中区上島＝に記念賞が贈られた。

世界で初めてブラウン管に映像を映し出した故高柳

健次郎の功績を記念し、浜松電子工学奨励会が一九八五年から研究者に贈呈している。畑中義式理事長が「地方の少ない研究費の中で役に立つ研究を奨励する目的で行っており、今年も素晴らしい研究者を表彰できて「光栄」とあいさつし、猪川さんに賞状を手渡した。

猪川さんは、光が当たっ

た時の温度の上昇で、光を感知する検出器の性能の向上に貢献した。検出器はサイズを小さくすると性能が落ちると考えられていたが、一部の部品は、長さや幅、厚さを同じ割合で縮小することで性能が上がることを突き止めた。

受賞者を代表し、猪川さんは「高柳先生のおかげ

で、浜松には光に関する研究や機関が集まっている。この環境があつての受賞で、これからも画像科学を盛り上げていきたい」と話した。

(糸井絢子)

その他の受賞は以下のみなさん。

▽研究奨励賞＝大田良亮、志村洋介、チャンドラ・ディモン・マイケル、増沢智昭、元垣内敦司